



## 横山不動尊 (津山)

日本三不動の一つに数えられる横山不動尊の本堂は、津山杉が蒼然と立ち並ぶ山麓に威風堂々の構えをみせています。本堂には、国指定重要文化財の弘法大師作といわれる、高さ約5層の木造の不動明王が安置され、その胎内には黄金の尊像が納められています。この像は、保元(1156)と59)のころに百済国(現韓国南部)から渡来したもので、現在の不動尊奥の院に祀ったのが、横山不動尊の始まりと伝えられています。

所在地：〒986-0402 登米市津山町横山字本町3番地  
問い合わせ：横山不動尊 曹洞宗大徳寺 ☎ 0225 (69) 2249

境内に建つ青銅五重塔は、明和3年(1766)の建立(1766)の指定重要文化財です。江戸時代の青銅造りとしては異色ですが、その鑄造技術は高く評価されています。毎年9月末になると、淡紅色の花を開く秋明菊が咲き乱れ、荘厳優美な塔の姿を一層趣あるものに演出してくれます。境内全域が南三陸国華山国定公園に指定され、見どころの一つである御池に生息する天然記念物の「ウグイ」は、吉凶を知らせて村人を守ってくれる不動尊の「御使姫」として、古くから厚い保護を受けています。

歴史博物館

## 広報ミニ展示室 12

＝踊念仏の碑＝



お堂の中に踊念仏の碑が安置されています

南方町板倉地区に、県指定有形民俗文化財の「踊念仏の碑」があります。高さ102センチの自然石で、中央に梵字を刻み、その下に「正安二年(1300)に50余人の人々が48日間踊り念仏を行った」という意味の文章が刻まれています。浄土教の一宗派、時宗の開祖である一遍上人(1239～89)は、踊り念仏をもって浄土教の庶民化に尽くした人物で、生涯を遊行で過ごしました。弘安3年(1280)に奥州に入り、さらに平泉・松島にも遊行しました。碑のある南方町やその周辺地域にも大きな影響を与えたものと考えられ、一遍上人による浄土教普及の様子が具体的に知られる貴重な碑です。

## 平筒沼ふれあい公園桜まつり



600本の桜が皆さんの来園をお待ちしています。期間中は午後6時から9時30分までふれあい橋がライトアップされ、水面に映る桜並木が幻想的な空間を演出します

期間：平成19年4月14日(土)～30日(月)

場所：平筒沼ふれあい公園

期間中イベント

■ 宵まつり [日時] 4月21日(土) 午後7時～

■ 本まつり [日時] 4月22日(日) ①午後2時～ ②午後7時～

● 場所 平筒沼youyou館ホール

● 内容 特設ステージで地元団体による歌謡・舞踊ショーなど

※園内には子ども用の遊具があるほか、遊歩道での散策もできます

【問い合わせ】 米山総合支所地域生活課 ☎ 0220 (55) 2111

豊里総合支所地域生活課 ☎ 0225 (76) 4111